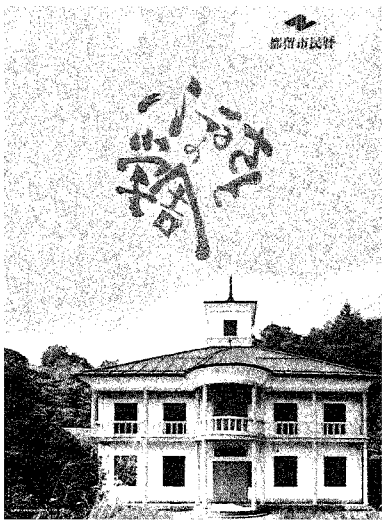
# ふるさとカレンダーは届きましたか！




昭和五十六年から始めたふるさとカレンダーの発行も今回で九回目となりました。今年は、〝ふるさとの学舎（まなびや）〟と題し、市内小中学校と大学の校舎を今昔で編集してみました。

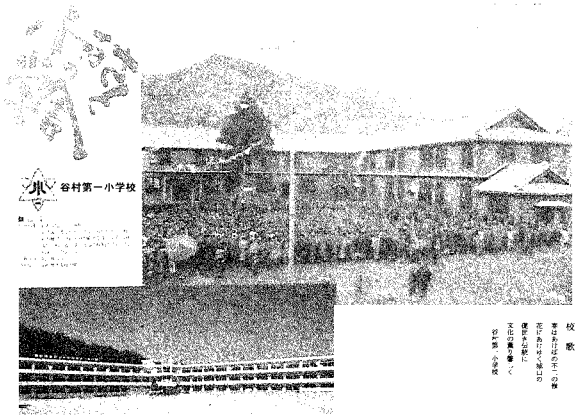
都留は、学園のまちとして江戸時代より教育に力を入れてきました。その結果、人口三万余の市で四年制の市立大学を持つまでになったのです。私たちは、この教育の伝統を先人の残した貴重な財産として今後も引き継いでいかなければなりません。

昨年の都留文科大学附属小学校新校舎の完成により、市内義務教育施設が完全不燃化となりました。旧木造校舎と近代的な鉄筋コンクリートの校舎とを見比べながら、昔の学校生活や友人を偲び、思い出のページをひもといていただければと思います。

このカレンダーが一年間皆様にご愛用されますようお願いいたします。

## 今月のカレンダー

### 「谷村第一小学校」




「おはようございます。」「おはようございます。」本校標語、『あいさつは、心と心のかよい合い。』を地で行く、気持ちよい毎日で始まるわが谷一小は、児童数八三三名、職員数四二名、家庭数六〇八戸で、児童、職員、父母の三位一体の中で、「一日も早くひとり立ちのできる子どもになろう。」「育てよう。」を合言葉に、児童活動に、職員研修活動に、PTA活動にと努力を続けている。

郡内地区の教育の中心校として生まれた本校も、開校以来、一七、八四三名の卒業生を送り、立派な先輩に続こう、追い越そうとするたしかな実践の日々である。

なお校舎内に設置された、都留少年少女発明クラブもその一助になればと思っている。

**谷村第一小学校　佐藤政利**

### ふるさとのまつり〈一月〉

○1日～七福神めぐり　市内七ヶ寺
○14日　道祖神祭礼（どんどん焼き）市内各地
○15日　石船神社祭礼（護良親王の御首級・宝刀の公開）
○16日　十王まいり（初閻魔・やぶ入り）市内諸寺
○17日・20日　山の神各地（法能・金井・夏狩等）
○20日　二十日恵比寿（女の正月）各地
○21日　山の神のかんむりひろい　各地
○25日　天神講　各地（金井・小形山・沖・与縄等）

問合先　教育委員会社会教育課

## 子供会シリーズ 17

# 児童期にうつる時

今まで幼児期の遊びのききめとして、遊ばせた子、遊べる子は、ことばが発達し、運動能力が育つだけでなく、社会関係の基礎が育つということを書きました。

小学校に入ることによって、社会生活の能力が育ってきます。社会生活能力とは、子どもが自分自身で生活を処理し、自立し、いろいろな集団活動に参加できる力であると思います。このような力は、学校生活や近隣での生活で身に付くものです。

私が教員であった時のことです。家では甘えん坊でわがままな子が、学校に来ると人が変ったようにしっかりする子がいました。申し分のない子と私の方は見ていたのです。家庭訪問でこの子の家庭での様子を聞いて、二重人格かなと疑ったのでした。そこで両親と話し合って日常生活をよく観察してもらう事にしたのでした。

親が日常生活をよく観察する様になると色々な事を発見したのです。親は気が付かなかったが明日の学習の支度をしたり、忘れ物のない様に気を使ったりしていました。又友達と電話で遊びの事をやりとりする時もありました。

家では甘えて自己中心的に振舞っていても、大事な事は落さないように気を使っていたのでした。学校に行く様になると、学校や学級の規則に従ったり、友だち同士の中での自分に気を使ったりするのです。ぼくはあの子より強い、だがあいつにはかなわないというような事を体で覚えるのです。集団の中で力関係が生まれて、ぼやぼやしていると、自分の位置が危うくなる事もわかってきます。その為に幼くても、家庭での生活と学校生活を区別するようになっていたのでした。

この様な時期が幼児期から児童期へ移行する時であるといってよいでしょう。この時期に育成会や子ども会で、地域内の子どもとの交わりを考え遊ばせる事によって社会生活能力がより育ってくるといってよいでしょう。

教育相談室
☎43―1111
内線　214